

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数物理
使用教科書(発行所)		物理基礎(数研出版)	
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	身のまわりの物理学に関わる現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する態度を高めるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付ける。		
学習方法	<p><b>【授業】</b> 教科書に従って授業は展開する。物理の学習は法則を暗記するのではなく、法則が導き出された過程についての理解が重要である。勉強を続けていくうちに、いろいろな現象や法則は、お互いに関係しており、物理という学問全体が系統だてて作られていることに気付くようになる。普段の授業における一つ一つの事象の理解に丁寧に努めることが重要である。</p> <p><b>【家庭学習】</b> 授業のみで内容を理解することは難しいので、授業の前に教科書を一読し、学習内容の全体像を頭に入れておくことが望ましい。また、単元が終了する毎に、問題集等を活用して、問題演習を行うなど、積み重ね学習を行うことも効果的である。</p> <p><b>【補習・その他】</b> 定期考査毎に、問題集用のノートと、訂正ノートを提出する。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>2 2学期</p> <p>(1) 中間考査以降期末考査まで ア 運動とエネルギー ア) 運動の表し方 イ) 運動の法則</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末考査まで ウ) 仕事と力学的エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度や加速度について学ぶ。</li> <li>等加速度運動・落体の運動について理解する。</li> <li>運動の法則について理解し、物体にはたらく力と運動との関係について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事とエネルギーについて学習し、力学的エネルギー保存則を理解する。</li> </ul>
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	物理学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析し、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	①定期考査、②授業態度、③課題・提出物等を総合的に判断して評価する。		
その他	<p>1 2学期中間考査までは週に2時間理数生物を集中的に行い、以降は週に2時間理数物理を集中的に行う。それぞれの総授業時間数は35時間ずつとする。</p> <p>2 授業で学ぶ物理の基本法則についての理解が最も重要である。受験対策の勉強は基礎的な内容の理解が最も重要である。授業を大切にす姿勢を第一としたうえで、十分な演習を行ってほしい。</p>		